

# 第6次松山市総合計画基本構想(素案)

計画期間:平成25年度～平成34年度

【概要版】

## 【策定の趣旨】

総合計画は、市町村が目指す将来像とそれを具現化する基本方針等を定めるまちづくりの根幹となる計画であり、市民と行政との共通の指針となるものです。

本市ではこれまで5次にわたり総合計画を策定し、計画的なまちづくりを進めてきましたが、現在の第5次松山市総合計画は、平成24年度を目標とする計画となっていることから、今後においても総合的かつ計画的なまちづくりを進めるため、平成25年度からの次期総合計画を策定することといたしました。

## 【まちづくりの理念】

- いきいきと、笑顔で暮らせるまちを目指す
- 夢や理想を抱き、挑戦し続けるまちを目指す
- 四国の中核都市として、持続的に発展するまちを目指す

【将来都市像】

人が集い  
笑顔広がる  
幸せ実感都市  
まつやま

## 【まちづくりの基本目標】

「笑顔のまちづくり」プログラム	
健やかで優しさのあるまち（健康・福祉）	
生活に安らぎのあるまち（安全・安心）	
地域の魅力・活力が溢れるまち（産業・交流）	
健全で豊かな心を育むまち（教育・文化）	
緑の映える快適なまち（環境・都市）	
市民とつくる自立したまち（自治・行政）	

## 【人口等見通し】

- 人口:約51.7万人(平成22年)→約50.0万人(平成34年)

## 【地域特性】

- 松山市の地勢と都市のなりたち
- 人づくりを重んじる風土の醸成、国際交流の促進と新たな文化の創造
- 四国における交通や産業の中心としての発展
- 市制の施行、合併による市域の拡大と地域資源の多様化

## 【時代の潮流】

- 安全・安心な暮らし
- 少子高齢化の進行・人口減少社会の到来
- 経済のグローバル化・雇用環境の変化
- 環境保全の取組み
- 地方分権の進展・市民参画と協働

## 【これからのまちづくりにむけて】

本市や本市を取り巻く環境が厳しくなる中において、松山固有の豊富な地域資源を磨き、それらを最大限に活用することで、にぎわいと活力の溢れるまちづくりを進め、一人でも多くの人が笑顔になるように努めます。

また、笑顔に惹きつけられて松山を訪れる人々との交流の中から新たな笑顔が生まれ、全ての人が幸せを実感できるようなまちづくりを目指します。